

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	県街路事業負担金	会計	一般会計	事業No.	603	施策順No.	44-015
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-3-12-2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	国県関連事業課		
施策	44 交通機関と道路の充実		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 市民 2 負担金支出先:長野県						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		工事施工箇所数(箇所)	5	7	4	5	2	
		負担金支払団体数	1	1	1	1	1	
意図	負担金を支出することにより、県街路事業が進捗し、道路の有効活用が図られる							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	負担金支払工事箇所数/負担金対象箇所数(%)	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	羽場大瀬木線の仮松川大橋の上部工事も発注され(都)下山妙琴原線も改良が進み、飯田市の幹線道路網の整備が促進した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	長野県が施行する街路事業の地元負担金(事業費)×(事業ごとの地元負担割合)によって算出される負担金を県に支出する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	社会資本整備総合交付金事業(地域住宅支援)街路(都)羽場大瀬木線 社会資本整備総合交付金事業(市街地整備)街路(都)下山妙琴原線 県単街路事業(都)下山妙琴原線、(都)飯田中津川線	負担金総額	90,629千円
23年度実施計画	社会資本整備総合交付金事業(地域住宅支援)街路(都)羽場大瀬木線 社会資本整備総合交付金事業(市街地整備)街路(都)下山妙琴原線	負担金総額	100,000千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項	(地)一般公共(充当率90%)
		県支出金					
		起債	81,400	81,400	90,000		
		その他					
	一般財源	計(A)	90,630	90,629	100,000		
	正規職員所要時間		50				
	臨時職員等所要時間						
	人件費計(B)		179				
	トータルコスト A+B		90,808				

4 事業に対する市民や議会の意見

道路改築事業に関する要望の中でも、強い要望がある事業である。また、各同盟会からも強い要望がある
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、財産、事業者が、便利で安全に移動できる。	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合。
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	長野県が施工する街路事業費の一部を負担し、事業の促進を図ってきた。		
	後期に向けた課題	長野県に対し関係する同盟会等で提言活動を行い、事業の推進を求めているため、街路事業の一部を負担をする必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	長野県が施工する街路事業が、順調に進む様に地元並びに地権者との調整を行った。		
	後期に向けた課題	予算確保が厳しくなり、今まで以上に事前の地域合意が必要になっている。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	計画段階から地元並びに地権者との調整を行い、事業費の削減に努めた。		
	後期に向けた課題	地元並びに地権者の要望は多様化しており、今後も十分に調整する必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市の幹線道路網を整備する為、事業費の一部を負担する必要がある。		
	後期に向けた課題	今後も飯田市の幹線道路網を整備する為、事業費の一部を負担する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	①事業主体は長野県であり、街路事業を推進した。 ②長野県が施工する街路事業が、順調に進む様に地元並びに地権者との調整を行った。		
	後期に向けた課題	今後も飯田市の幹線道路網を整備する為、事業主体の長野県に協力して街路事業を推進する必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	長野県が施工する街路事業が、順調に進む様に地元並びに地権者との調整を行った。		
	後期に向けた課題	今後も飯田市の幹線道路網整備を推進する為、地元並びに地権者との調整を十分に行う必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------